

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表：1/3）

公表日：2026年7月24日

保護者等数：20名 回収数：16名 割合：80%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	14	2			・雨の日でも室内で体を動かせたり、シーン毎に使うスペースを区切ってあり、子供にとって過ごしやすい環境だと思います。 ・その日の利用人数や学年による。 ・入り口までの階段が子供を抱えてだと大変です。 ・狭いながらも工夫されている子どもの年齢も上がってきたので、もう少し広いスペースがあってもいいかと思います
	2	職員の配置数は適切であるか。	14			2	・多過ぎず、少な過ぎず、ちょうど良い人数だと思います。 ・その日のメンバーによる。 ・来所時に先生からのお話があるので、適切だと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がい児の特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	14	2			・子供にとって過ごしやすく自力で考える事の出来る環境だと思います。 ・建物の構造上難しい部分もあるかと思いますが、階段部分について、安全面・移動面での配慮がさらに進むとありがたいです。 ・入り口までの階段が改善されると大変助かります。 ・わかりやすい環境だと思う。 ・TODOが“見える化”されており、分かりやすいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	2			・いつも清潔で子供を安心して預けられる環境だと思います。 ・お弁当やおやつの臭いが充満している時があるので換気してほしいです。 ・いつも掃除がされている。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。	14			2	・困り事などすぐに相談出来、日々子供の成長を感じられています。 ・見学した事がないのでわかりません。 ・一人ひとりに合わせて細やかに療育してくださっています。 ・こどもに適切な対応がされている。 ・都度、電話で相談しても真摯に受け止めてくださるので助かっています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているか。	14	1		1	・その都度相談があれはすぐに対応して頂け、支援内容にも満足しています。 ・見学した事がないのでわかりません。 ・100%以上に子供のための支援を行ってくださっています。 ・専門性がある支援内容だと思う。 ・実際に、どのようなことが行われているのか…不透明です。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思うか。	16				・安心してお願い出来る支援を受けられ、感謝しています。 ・いつも丁寧にモニタリングしていただき、ありがとうございます。 ・保護者以上に、子供たちをよく観察してプログラムを組んでくださいます。 ・保護者の思いを丁寧に言語化して、計画されている。 ・しっかり向き合ってください
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思うか。	16				・いつも大満足しています。 ・そう思います。 ・情報や意見をしっかりと共有できています。 ・目標設定が的確、必要な助言などいただけるので助かります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思うか。	16				・いつも信頼出来る支援をして頂いています。 ・見学した事がないのでわかりません。 ・計画に沿って質の良い療育をしてくださっています。 ・具体的な手立てなどモニタリングで振り返りがあり、しっかり現状の子どもの様子がわかります。 ・具体的な手立てが明確に行なわれている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	14		1	1	・いつも様々な視点から評価して頂き、レベルアップしているのを感じます。 ・送った時に公園に行くお知らせと行っても良いかの確認をもらえる日と、何も言われない日があり、その場合子供が言わないと行ったかどうかともわからないので事前にお知らせはしてほしいです ・よく考えられて工夫されているプログラムだと思います。 ・成長に合わせたプログラムを組んでくださっています。 ・季節の行事なども取り組まれている ・少し不透明かなと感じています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	6	4	・近くの大学のイベントに参加させて頂いた事はあります。 ・児童センターや公園等で他の子ども達と遊ぶこともあるそうです。 ・別に望んでないので、いいと思う。 ・長期休みにしっかり、公園や近隣の施設に連れて行ってくれる。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表：2/3）

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	16				・いつも丁寧に説明して下さいます。 ・きちんと説明し丁寧な説明がありました。 ・細やかに連絡を取り合っています。 ・信頼しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	16				・いつもわかりやすく説明して下さいます。 ・きちんと説明していただきました。 ・いつも計画書に沿って説明してもらっています。 ・利用時は毎回説明をいただいています。 ・信頼しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	7	6	2	1	・参加したことがないのでわかりません。 ・希望しておりません。 ・送迎時に普段から話しかけるので必要ない。 ・今はあまりないように感じています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか。	14	1		1	・とても出来ていると思います。 ・先生によっては、軽く受け止められているように感じる事がある。 ・できていると思います。 ・しっかり共有できています。 ・連絡帳も活用できている。 ・小学校から直接のお迎えを利用しているときもあるのでは不明です。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	16				・毎度すごく助けられています。 ・モニタリングを利用時間内に事業所で行ってほしいです。家に来られるのが負担です。 ・面談もあり、日常の相談事についても都度アドバイスを頂いております。 ・支援相談にたくさん時間をとっていただいております。 ・日頃から気軽に相談できる雰囲気があります。 ・利用日ではない日に電話でやりとりしたりするなど、しっかり向き合ってくさっています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思うか。	16				・すごく思います。 ・そのように感じます。 ・話もよく聞いて頂き、支援をして頂いています。 ・保護者の意見もよく聞いてくださいます。 ・いつもねぎらいの言葉かけありがとうございます。 ・どの先生も受容的で好感も持てます！
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	2	3	7	4	・参加したことがないのでわかりません。 ・こちらも求めています。 ・されています。 ・駐車場が狭いから、仕方ないと思う。 ・ないと感じます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	14	1		1	・いつも迅速に対応して頂いています。 ・子どもの変化等都度相談に応じて頂いています。 ・迅速に対応いただいております。ございます。 ・いつでも相談できる。いつも迅速です。助かっています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思うか。	16				・かなりされていると思います。 ・気軽に相談できる雰囲気です。 ・事業所での様子等詳しく教えて頂いています。 ・常に共有できている。 ・送迎時に普段から話せる。 ・丁寧です。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。	16				・定期的に通信が送られて来て、分かりやすいです。 ・毎月あります。 ・都度発信して頂いています。 ・利用時の説明やメールでの連絡等いただいております。 ・周囲への周知も含めて、通信を使用するのはいい活動だと思います。
	22 個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	14	1		1	・安心しています。 ・インスタグラムの投稿が知っている人には誰かわかります。 ・今のところ困っておりません。 ・しっかりしています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表：3/3）

	チェック項目	は い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
非常時の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16				・しっかり対策してあると思います。そのように説明がありました。 ・説明も訓練もできています。 ・紙芝居などを利用して、しっかり見聞きしていると思います。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	15	1			・定期的にあり、安心してお願い出来ます。 ・そのように説明がありました。 ・行われています。 ・定期的に避難訓練をしていただいています。 ・しっかりできています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思うか。	16				・十分されていると思います。 ・そのように説明がありました。 ・周知できています。 ・しっかりできると思います。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	13	1		2	・いつも細かな連絡くださいます。 ・事故が発生した事はありません。 ・何かあるとすぐに連絡をくださいます。 ・子どもの体調まで、よく見て感じ取ろうとしてくれる。できています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	16				・親子共に安心してお願い出来ます。 ・とても安心して過ごせています。 ・安心して通っております。 ・いつも楽しみにしています。 ・プラススタイルに行くのが楽しみなようです。
	28 こどもは通所を楽しみにしているか。	13	2		1	・嫌がる事なく通えています。 ・嫌がる事はないけど、笑顔もみられません。 ・いつも楽しみにしています。学校卒業後の生活に、放デイに行く楽しみが減ると思うと不安です。 ・大好きな場所だそうです。
	29 事業所の支援に満足しているか。	15	1			・大満足しています。 ・来年は卒業すると思うと、今からさみしくて不安です。 ・良い時も悪い時もあります。 ・子どもの変化に気づき、よく理解して頂いていると思います。 ・相談もしやすく大変助かっております。 ・送迎があるとありがたいです。 ・卒業することを思うと、今からさみしく思います。 ・いつまで通所したらいいのかなと最近悩んでいます。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：1/3）

公表日：R8年7月24日

スタッフ数：6名 回収数：6名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・基準を満たしている。・場所ごとに職員配置を行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・危険予知が難しい子には1対1でつけるよう子どもの状態に合わせても場所ごとに職員配置し、児に対応できるようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障がいの特性に応じたバリアー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・写真や絵カードが必要な場所に視覚提示し、床の色をスペースごとに変え、ゾーニングし、分かりやすい構造化を図っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・外階段や段差があるが、個に応じて身体補助を行っている。
	5	必要に応じてこどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・目の見えない児への対策に必要な構造化の追加を検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	6		・食事や遊ぶ場所を分けるとともにそれぞれ活動にあわせ、色合い等にも配慮し、心地よく過ごせるような空間作りをしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・動的、静的活動のスペース分け等、集中して取り組める空間作りを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・消毒、清掃のマニュアル化を行い、日、週間、月間清掃計画に沿って行うとともに、適宜清掃は徹底し、物品の破損がみられたら回収し、補修している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・パーティションでの区切りやカーブダウンのスペースを設けている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・個別課題に取り組み場所、休憩する場所を決めて分かりやすくしている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・全体目標と個別目標を月ごとに立て、実行・改善を行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・毎朝申し送りを行い、日々の改善について話し合い、改善実行を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・毎月ミーティングを行い、振り返りや改善点、良い所の共有ができています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・目安箱の設置や適宜、アンケートの実施等工夫している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・把握、公表、改善対策、検討会を行っている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービス計画の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・評価表だけでなく、日々聞き取り体制で向き合っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・保護者の意向を職員全員が把握できるよう伝達を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎月(個別)振り返りや適宜面談を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・気軽に話せる場作りを行い、迅速な周知、改善が行えるよう共通認識を図っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して支援を行っているか。	6		・話し合いの機会を多く持ち、職員自身が考えるきっかけになっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・必要に応じて実施していく。・外部評価が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・行っていない。必要な場合に行えればと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・各職員が研修を担当する等、毎月開催している。
	24	放課後等デイサービス計画「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・外部研修やオンライン研修に参加、伝達講習を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・ミーティングや話し合いが持たれている。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：2/3）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・現場職員配置を配慮し、参加につとめている。 ・児発管を主に担当職員や主任が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じて連携。 ・適宜ケース会議や情報共有を行っている。 ・支援内容の共有、課題提供を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時の連絡調整を行っている。 ・毎月と利用時にチェック確認を行っている。 ・保護者と情報共有している。 ・児についての情報共有をし、困り事がないよう都度行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・適宜見学やケース会議を設け、情報を共有している。 ・就学前に家庭訪問や小学校への情報提供を行っている。 ・担当者会議等をし、支援内容等、共有理解をしっかりと行っている。
	30	学校を卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	6		・児の支援内容、特性等をまとめ、書類を作成し、就労先への情報共有伝達を行っている。 ・保護者、児から聞き取りを行い、最新の情報を提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・外部研修等として受講。 ・自立支援協議会やセンター主催の研修会に参加し、学びや助言を受けている。 ・必要に応じてスーパーバイズを受ける機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・長期休暇に公園等、地域の場に出外する機会を設けている。 ・地域の公園や商店街への外出時に交流機会がある。 ・他の子どもとの交流が必要。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・各職員が順番に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・送迎時、家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子さんの様子や今後の課題を話し合っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・職員が研修に参加し、情報提供をしている。 ・玄関の閲覧場所に情報提供のチラシを置いている。 ・家庭で行える対応方法を伝える機会を設けていく。 ・年に2回家族参観や体験型のイベントを企画実施している。 ・保護者勉強会や茶話会を年3回企画実施している。 ・必要とされる家族へのケアを行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・特別に時間を設けて説明を行う。 ・契約時と変更時に都度丁寧な説明を行っている。 ・利用開始時に行うと共に、常に玄関の手に取れるところに置いている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・毎月、決められた日程で意向確認を行い、書類にも記載している。 ・定期的に見直しを行い、丁寧に説明を行っている。 ・契約時、モニタリング時、意向の確認を行った上で計画作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・説明をする場を設け、説明後同意を得ている。 ・変更があればその都度同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・家庭訪問や事業所にて面談時間を確保するために、定期的に調整を行っている。 ・モニタリング時や必要な場所で行っている。 ・必要とされる時には時間を設け行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・イベント企画時やグループ家族支援時に茶話会を実施し、交流の機会を設け、交流しやすい場づくりをしている。 ・保護者交流の場を親子行事として年2回設けている。 ・保護者交流の場を保護者勉強会として3回設けている。 ・きょうだい同士の交流や父親の交流が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情の体制は契約書に記載し、契約時に説明を行っている。 ・言いづらいことにも対応できるよう、目安箱を設けている。 ・必要に応じて相談支援や家庭訪問を行っている。 ・必要な保護者にはしっかりと時間をとり応じている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・通信を毎月発行し情報の発信をしている。 ・必要に応じて不定期に発行も行っている。 ・HPやSNS（インスタグラム）を活用し、日々の活動の様子や連絡体制について、継続的に情報発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・管理場所を固定。鍵の施錠（書類等）。 ・顔や名前等の提示について保護者の同意を得ている。 ・名前が記載している書類はシュレッターをする。 ・事業社外に情報を持ち出さない。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもの特性を把握し、自ら意思を伝えられるツールを支援で身につけられるようにしている。 ・個に応じた配慮。文書やTEL、図式化など。 ・保護者とも情報共有している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		6	・外部行事等、関われる機会を設けている。 ・具体的には行えていない。計画していく。 ・地域住民の方とふれあう行事の効果的な計画を立てていく。

放課後等デイサービスにおける自己評価結果（公表：3/3）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 ・引渡し訓練を行っている。 ・SNSやHPにて周知を行っている。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・必要物品等の準備を行っている。 ・支援者、子どもそれぞれにねらいを持って行っている。 ・各種マニュアル化を行い、訓練計画作成および実施している。 ・適宜行い入職時には研修を行い理解する場を設けている。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・病歴等、保護者から情報を聴取している。 ・必要な児童は、医師の指示書等で確認している。聞き取り、必要書類の保管を行っている。 ・お薬手帳を見せてもらい確認している。 ・全体で伝達を行うと共に必要な場で個々のスタッフにも口頭で再度伝えている。
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・個人情報をもとに確認できるように準備している。 ・現在該当児がいないが、必要に応じて行っていく。 ・保護者より聞き取りを行いアレルギー表を作成する。 ・ミーティングで伝達に加え食事前（中）に声を掛け合い見守りを行っている。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・訓練ごとに振り返り、物品準備等、改善している。 ・危機管理に対する意識啓発や研修を行っている。 ・危険な所はないが職員全員で確認共有している。 ・十分に配慮され安全な中で行われている。 ・ミーティング時に毎月職員間で共有し、更なる改善に取り組んでいる。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・訓練内容伝達、保護者との引渡し訓練の実施。 ・安全計画書類や引渡し訓練にて周知している。 ・通信や手紙、メール等でお知らせしている。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットが発生したら、再発防止のため事後すみやかにを行い、改善の周知を行っている。 ・必要な情報が共有され話し合いなど持たれている。 ・事故等のマニュアルも作成されている。 ・事故発生防止研修を年二回行っている。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年間の計画を作成し、それに基づいて研修実施を行い、対応を適宜振り返る。 ・自己チェックや研修を定期的に行っている。 ・入職時には研修を行っている。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・該当児がいないが、契約時に説明や周知を行っている。 ・研修の場を設け共通理解が図られている。 ・強度行動障害研修を受講したスタッフが在籍している。

事業所における自己評価総括表（公表）			
○事業所名	児童多機能型事業所プラス・スタイル（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8年5月7日　～　R8年5月31日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20人	（回答者数）16人
○従業者評価実施期間	R8年6月1日　～　R8年6月26日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6人	（回答者数）6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年7月24日		

【分析結果】			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【満足度】 こどもは安心感をもって通所している。 （保護者:はい16/どちらとも0/いいえ0/わからない0）	- 活動の見通しが立てやすい環境(スケジュール、自立活動、伝達方法の教示等)お子様の発達段階に応じた設定を行っている。 - 仕切りを使用し、休憩スペース、自立課題スペース等を設定している。 - 休憩スペースの使用の仕方を絵カードで掲示している。個別部屋の使用方法について適切な教示を行い、誰もが使用できる態勢を整えている。 - お子さまの表情や行動の変化を丁寧に観察し、不安や困り感の早期把握に努めている。	- 安心して過ごせる居場所づくりを継続するとともに、自分で選択、挑戦できる機会を増やし、自己肯定感の向上につながる支援を行う。 - 保護者様と情報共有を密に行い、ご家庭と連携しながら安心して通所できる支援体制の更なる充実を図る。
2	【適切な支援の提供】 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。 （保護者:はい16/どちらとも0/いいえ0/わからない0） こどもと保護者のニーズや課題を標準化されたツールを用い客観的に分析し、放課後等デイサービス計画を立案し、具体的な支援内容にそって、活動プログラムが固定化されないようにチームで立案し、工夫した支援を特性に応じて提供し、定期的にモニタリングや支援の検証を行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。 （従業者：はい6/いいえ0）	- NCアール、VinelandⅡ、PECS、人との関わりテスト等のフォーマットの実施と聞き取りやヒヤリング等のフォーマットを適宜行っている。 - 児発管→担当スタッフ为中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。 - 月間のアールに基づき、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立て、内容の変更、適宜見直しや工夫点をチームで考えている。 - 日々の記録を記入漏れのないように、項目に沿ってそれぞれ記入している。改善につなげるために記録から行動分析を行ったりと、スタッフ全体の支援の質の向上を行っている。 - 時期を明確化し、保護者様と話し合い見直しを行っている。 - ガイドラインに基づき、具体的に個に応じた計画が設定されている。	- 支援の根拠を明確にした個別支援の充実を図るため、支援者のスキルアップのための研修、プログラムを立て継続的な研修体制を維持していく。 - お子様一人一人の強みや興味をいかした活動を取り入れ、主体的な参加や成功体験を積み重ねられる支援を継続して行う。 - 支援者間で支援方法や成功事例を定期的に共有し、チーム全体で支援の質の向上を図る。 - 保護者様に支援のねらいや成果を分かりやすく伝え、支援内容への理解と安心につなげられるよう努める。
3	【保護者への説明等】 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がなされており、「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされている。定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われ職員から共感的に支援されている。意思疎通や情報伝達のための配慮がなされており、定期的に活動概要等の葉心ができている。 （保護者:はい16/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	- 契約時や必要に応じて書面にて、運営規定や年間の支援プログラム、個人情報の取扱いについて等の説明を行い、同意を得ている。 - 子ども、保護者の意向をお伺いし、個別支援計画書に記載、支援内容の説明を行い、同意を得て支援にあたっている。 - 不明点は無いか確認も行き、順序だてて具体的に説明を行っている。 - 定期的な家庭訪問や適宜、個別に時間を設け、家庭での関わり方や子育てに関する助言を行い、保護者様の不安軽減や養育力向上につながる支援を行っている。 - 定期的に SNS や通信にて活動の様子や安全計画等について発信している。	- 保護者様からのご意見やご要望を定期的に把握し、支援内容や情報提供の充実につなげる。 - ご家庭でも取り組みやすい支援方法や関わり方について情報提供を行い、家庭と事業所が連携した支援が行えるよう継続する。
4	【業務改善】 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会を確保するとともに、業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。保護者や職員からの意見を聴取し把握している。 （従業者：はい6/いいえ0）	- 毎月法人内研修を実施しており、外部研修については告知し、適宜参加している。 - 受けた外部研修の伝達講習を行っている。 - 全体目標と個別目標を月毎に立て、実行、振り返りを行い、良い所や改善点の共有ができている。 - 毎月(個別)振り返りや面談を行っている。 - 属人化しない支援体制の構築ができている。	- 研修で学んだ内容の実践状況を定期的に確認、評価し、支援の質の向上につなげる。 - 保護者アンケートや支援者の意見を分析し、改善策を具体化してPDCAサイクルをより効果的に運用していく。 - 支援方法や成功事例を支援者間で共有する機会を充実させ、事業所全体の支援の質の向上を図る。
5	【関係機関や保護者との連携】 担当者会議や関係機関との会議や家族等に情報共有や相互理解を図っている。また、日頃から子どもの発達の状況や課題について共通理解が図られるように機会を確保している。 （従業者：はい6/いいえ0）	- 適宜ケース会議等に児発管を主に担当職員や主任が参加し、情報共有を行っている。 - 相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 - 来所時、降所時、送迎時に必ず保護者様に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 - 送迎時、家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子様の様子や今後の課題を話し合っている。	- 保護者様との面談や相談機会を充実させ、家庭での困り事やニーズを支援に反映できる体制を強化する。 - ライフステージの変化や進級、進学、就労を見据えた引継ぎや情報共有を各関係機関とともに、計画的に継続し実施していく。
6	【非常時の対応】 事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等各種マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しており、事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている。 （保護者:はい16/どちらとも0/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0） 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。 （従業者：はい6/いいえ0）	- 危険箇所や物品破損についてチェックシートを用いて整備や補修を行っている。 - 毎週の清掃の際、点検を行い、修繕が必要な際は迅速に対応している。 - 災害発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 - 通信や SNS にて訓練の実施報告や防災予防等、啓発発信をしている。 - 採用時には必ずマニュアルの読み合わせを実施している。 - 引渡し訓練を行っている。	- 様々な災害や事故を想定した実践的な避難訓練を継続し、支援者の対応力の向上を図る。 - 災害時の対応や訓練の実施状況について、継続的に通信や SNS 等を活用し情報発信を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境・体制整備】 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。 （保護者:はい14/どちらとも2/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0） 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 （保護者:はい14/どちらとも2/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0）	- 活動スペースは運営基準を上回る広さを確保しているが、体を大きく動かす活動時には、参加人数や活動内容によっては、動きの制限を感じやすい状況である。 - 階段そのものの改修やバリアフリー化については、貴重物件であることから事業所単独での対応が難しい状況である。 - 事業所内には空気清浄機（エアドック）を設置しており、適宜窓開け換気による空気環境の維持にも努めているが、食事内容や時間帯によっては匂いが残りやすい状況である。	- 活動内容や参加人数に応じてグループ編成や活動場所を工夫し、一人一人が十分に体を動かせる環境づくりを行う。 - 屋外や体育館など地域資源を活用し、活動内容に応じて広いスペースを確保する。 - 定期的な換気や空気清浄機の活用に加え、消臭対策や衛生管理を徹底し、快適な生活環境を継続的に維持する。 - バリアフリー化が難しい設備については、安全な動線確保や職員配置を工夫し、安心して利用できる環境づくりに努める。
2	【適切な支援の提供】 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。 （保護者:はい14/どちらとも0/いいえ0/わからない2） 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているか。 （保護者:はい14/どちらとも1/いいえ0/わからない1） （従業者：はい6/いいえ0） 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。 （保護者:はい14/どちらとも0/いいえ1/わからない1） （従業者：はい6/いいえ0） 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 （保護者:はい5/どちらとも1/いいえ6/わからない4） （従業者：はい6/いいえ0）	- お子さま一人ひとりの状況や特性を把握するため、日々の活動や関わりの中での様子や聞き取りにてアセスメントを行い、放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っており、活動プログラムについても複数の内容を組み合わせて実施しているが、支援の目的や意図、活動の内容が十分に伝わっていない状況である。 - 活動内容の具体的な伝達や、工夫点について保護者への伝達機会が少ない状況である。 - 学校休業日等には児童館や地域の公園等公共施設の利用をしているが、保護者様のお感じになっている十分な機会には至っていない状況である。	- 定期的な面談や、日々の伝達等にて、活動のねらいや支援内容、成果等を分かりやすく丁寧に保護者様へお伝えする。 - お子様の興味、発達段階、季節に応じた活動プログラムを継続的に見直し、主体的に参加できる活動の充実を図る。 - 公共施設や地域資源を活用した活動について、事前に目的や期待される効果を保護者様へ説明し、理解を深める機会をもつ。
3	【保護者への説明等】 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか。 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。 個人情報の取り扱いに十分注意されているか。 （保護者:はい14/どちらとも1/いいえ0/わからない1） （従業者：はい6/いいえ0）	- 来退所時に必ず保護者に声をかけ、様子の聞き取りや伝達を行っている。また、通信等を通じて、相談支援体制について随時お伝えするとともに、定期的な家庭訪問や随時の相談や申入れに対しても迅速に対応しているが、利用状況や保護者様との接触機会の違いにより、共有内容や相談体制について十分に伝わっていない場合があると考えられる。 - Instagram への投稿にあたり、個人が特定されないよう顔をイラスト等で加工する等、個人情報の保護に配慮しているが、活動内容や状況からお知り合いの方にはお子様が分かる場合があるのご意見がある。	- 送迎時の短時間の情報共有に加え、定期的な個別面談や、家庭訪問、また随時アンケートを実施し、ニーズの把握に努めご要望にお応えできるよう努めていく。 - SNS の掲載にあたっては、個人情報保護に関する職員研修を継続するとともに、複数職員による相互チェックを徹底し、安全で適切な情報発信体制の維持、向上に努める。
4	【保護者への説明等】 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。 （保護者:はい7/どちらとも6/いいえ2/わからない1） （従業者：はい4/いいえ2） 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。 （保護者:はい2/どちらとも3/いいえ7/わからない4） （従業者：はい4/いいえ2） 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 （従業者：はい0/いいえ6）	- 今年度より継続的な実施に向け、開催を開始したばかりであり、現在は開催実績の積み上げに取り組んでいる。 - 地域の施設の利用はあるが、発信型取組は事業所内での開催に関して、収容人数や音響に關しての負担が大きく、また、防犯や事故等安全上のリスクを鑑みて行っていない。 - 地域とのつながりを構築するためのネットワークや協力機関との連携が十分でない。	- 保護者研修会や情報交換会を計画的に開催し、評価改善を行いながら、保護者同士が交流できる機会を充実させていく。 - アンケート等でニーズを把握し、参加しやすい開催方法や内容について検討し、質の向上を図る。 - 安全面や運営体制を踏まえながら、地域へ事業所の活動を知っていただける情報発信や、参加方法を検討していく。 - 保護者様や地域のニーズを把握し、事業所の実情に応じた地域交流の在り方について継続的に検討していく。
5	【非常災害時の対応】 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。 （保護者:はい15/どちらとも1/いいえ0/わからない0） （従業者：はい6/いいえ0） 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。 （保護者:はい13/どちらとも1/いいえ0/わからない2） （従業者：はい6/いいえ0）	- 安全計画に基づき毎月実施しているが、実施していることと、保護者様が知っていることに差があり、通信等での情報提供が限定的である。 - 事故や怪我が発生した際には、その都度、当日の状況やお子さまの様子について口頭等で説明を行っているが、連絡のタイミングや説明内容が十分に伝わっていないと感じられる状況である。 - ヒヤリハットや事故防止の取り組みを保護者様へ共有する機会が少ない。	- 保護者アンケート等を通して非常時対応に関するご意見を把握し、避難訓練や情報提供の方法改善にいかす。 - 事故やヒヤリハット発生時は、速やかに保護者へ状況・対応・再発防止策を丁寧に説明するとともに、支援者間で情報共有・原因分析を行い、再発防止を徹底する。
6	【満足度】 こどもは通所を楽しみにしているか。 （保護者:はい13/どちらとも2/いいえ0/わからない1） 事業所の支援に満足しているか。 （保護者:はい15/どちらとも1/いいえ0/わからない0）	- 個々の発達課題に応じた支援は実施しているが、その意図や成果が保護者様へ十分に伝わっていない場合がある。 - 個々の興味関心に応じた支援への配慮を行っているが、その時点の活動内容がお子さまの興味関心と一致しない場合は、通所意欲や満足度に影響している可能性がある。 - 支援への納得感や安心感につながる意見交換が不十分である状況である。	- 日々の様子や、支援の意図や成果を連絡帳や面談、SNS等を通して丁寧に発信し、保護者様との共通理解を深められるよう努める。 - 定期的に個別面談を実施し、ニーズやご意見の把握に努め、支援内容へ反映していく。 - 学校・家庭・事業所で情報共有を密に行い、一貫した支援体制を整えることで安心感と満足度の向上を図る。